令和3年度 事務事業評価シート

_									1		
施		策	541 情報を	戦略的に発信	言し、多様な3	主体と共有する	5.		部内	優先順位	
事	業	名	国内都市と	:の交流推議	進					1	
			友好交流締結都	市を初めとす	る国内都市と	の交流を推進す	ることで、区民	に様々な体験		係(担当)	
目		的	をする機会を提供 築されている。ま	キするとともに、 た、特別区長st	防災協定、広 ≷が推進する「	、報協定など、様 特別区全国連	そな分野での 集プロジェクト	協力関係が構 において都市	文化芸術振興課	都市交流・国際担当	
			と地方の双方が					The state of the s	03-5608-1459		
55	象	者	各友好都市の自治体 ・各友好都市の区民・町民・市民等								
הא	38	13	合反好都市の日 北海道十勝地域			田区の住民					
根	拠 法	令	里 四 豆 坝 土 去 冻	### # ##	空亚纲 山北	포쓰레포 ##					
関	連計	画	墨田区都市交流	推進安貝宏設	直安綱、地攻	再生計画、壺田	区総合戦略				
実	施基	準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制	・委託先		常勤職員2		
事	業 内	容	【事業概要】 友好交流締結都市を初めとする国内都市との交流事業の実施 1 「友好都市交流展」の実施(8月下旬から9月初旬までの6日間・すみだまち処)・・・・・長野県小布施町・山形県鶴岡市・栃木県鹿沼市からPRパネルの掲出・地元の名産品などの販売PR 2 長野県小布施町と墨田区民との交流事業の実施。(都市農村交流)【春季1回・秋季1回】 3 長野県小布施町の栗ガ丘小学校6年生の体験学習 4 長野県小布施町で行われる、「六斎市」に「墨田区伝統工芸保存会」が出展し地元町民との交流と伝統工芸のPR活動(令和2~4年度)特別区全国連携プロジェクトにより、地域再生を図るための事業を実施・江戸の伝統を活かした十勝産品による新しい食文化の創出事業(たいとう・すみだ・十勝ウィーク、たいとう・すみだ特産品づくり)・・十勝・東京スポーツ・アウトドア交流拡大事業(モニタリングツアー)・・北海道十勝地域と東京たいとう・すみだ戦略的交流事業(交流委員会の設置・運営、交流戦略決定、新規事業の検討等)								
			開始年度	平成	4年	終了	予定				
経		過	【長野県小布施町】平成5年3月、葛飾北斎に関する3つの自治体又は美術館(墨田区・小布施町・津和野町)で構成する北斎三館協議会が設立されたことをきっかけに墨田区と交流が始まり、平成8年5月1日「墨田区と小布施町との友好協力に関する協定」・平成8年7月22日「防災相互応援協定」締結								
			特別区全国連携プ (文化芸術振興課長 も、食がテーマにな	(令和3年予算特別委員会) 特別区全国連携プロジェクトにおける区の単独事業について、どのような考えで進められているのか (文化芸術振興課長答弁)北海道芽室町と食をテーマに交流を行っている。今回、区長会を通したプロジェクトも、この芽室町との交流も、食がテーマになっており、令和元年に区内の食育団体と、この担当職員が芽室町で交流を行った。その中でワークショップも行って、大きく四つの今後の交流事業の検討を始めている。芽室町と墨田区が今後どのような交流ができるか調整している。							
_		他項	て、大きく四つの今後の交流事業の検討を始めている。芽室町と墨田区が今後どのような交流ができるか調整している。 (他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和3年5月 長野県小布施町と墨田区民との交流事業の実施(都市農村交流)春季中止 長野県小布施町の栗ガ丘小学校6年生の体験学習 受入れの中止 令和3年8月27日~9月1日 友好都市交流展 中止 ※中止はコロナウイルス感染症拡大の影響による 令和3年10月 たいとう・すみだ・十勝ウィークの実施 時期未定 十勝・東京スポーツ・アウトドア交流事業								

	予算・決算額推移(千円)			28年度	2 9 年度	3 0 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額(事業費)			879	1,140	1,144	1,148	4,561	7,507	
A.決算額(令和3年度は見込み)			641	853	824	806	4,190	6,904	
		玉		0	0	0	0	1,691	2,824
財	源	都	3	0	0	0	0	0	0
		その	他	0	0	0	0	2,493	2,000
		一般財源		641	853	824	806	6	2,080
		執行率(%)		72.9%	74.8%	72.0%	70.2%	91.9%	92.0%
		B.人コスト				3, 937	3, 495	7, 058	
	総事	業決算額(A-	⊦B)	641	853	4, 761	4, 301	11, 248	
	主力	よ事業費用の記	兑明	小布施町との都市農村交流事業に係る職員参加費・バスの借上げ費用 友好都市交流展実施に係る負担金 特別区全国連携プロジェクトに係る特別区区長会への分担金 特別区全国連携プロジェクトに係る関係団体への補助金				用	
予算書P(令和3年度) P119				3-3	執行実績報	報告書P(令	和2年度)	P53 ⁻	下段3

	指標	国内友好都市との交流回数				単 位	
手 段	最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
対する指		R7	目標	5	5	5	5
			実績	5	5	5	5
(活動指標		R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	5	5	5	5	5	5
	実績	1					

指標の選定理由及び目標値の理由

事 業 の 成 果

国内友好都市の交流回数を増やすことより、内容を充実させ、住民同士の交流を実現させることが大切と考える。

Į		指標	連携自治体累	計数			単 位	自治体
目	的に	最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
	する指標	55	D2	目標				
		99	R3	実績				
) D	 发果指標)		R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	55	55				
		実績	40					

指標の選定理由及び目標値の理由

墨田区総合戦略で、地方との交流や提携を強化するための重要業績評価指標(KPI)として目標を示している。 ※第2次総合戦略の策定予定は令和3年度末予定

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度は事業の中止を余儀なくされた。今後も交流事業を通じた区民相互の交流を深めるためにも、感染拡大を防ぐための対策等を検討していく必要がある。

課題・問題点

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面での交流が困難となっている中、オンラインの活用等、様々な形の 交流を検討することが、今後の課題となる。

また、地方創生の枠組みの中で、都内自治体として何を目的として都市交流を進めていくのか、改めて定義し直し、今後 の都市交流の進め方について、方向性を定める必要がある。

補助会名和	金 称	特別区全	:国連携プロジョ	┎クト事業補助金		主管課・係(担当)				
根拠法學	令					文化芸術振興課 都市交流・国際担当				
補助概要	北	L海道十勝 ^b		業にて令和2年度から本格Ⅰ を流を育む事業を、両地域□		03-5608-1459				
目的	的 特 さ	特別区長会が推進する「特別区全国連携プロジェクト」において都市と地方の双方が共存共栄する新たな関係づくりが構築されている。								
対	象連	連携実績があ	る食育関連団体							
基	準 [2	区独自基準								
補助条件	牛 :	食育及び食 当該地域と	満たした団体 を通じた交流事業につい のつながり・縁がある。 する能力があると認め							
		開始年度	令和2年度	終了予定	令和·	4年度				
経過	_ <u>}</u> 令	介和元年度	特別区全国連携プロジラ 令和元年度に実施した!	終了予定 ェクト事業実施に向けたプレ ³ ワークショップで提案のあった ロ」を育むモデル事業の企画材	事業実施(保健計画課) た5つの取り組みアイデアから					
経 過議会質問の状況	令令(特)室で	令和元年度 令和2年度 (令別を芸術の (予別を (を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	特別区全国連携プロジ: 令和元年度に実施した! 「関係人口」「交流人! 算特別受済会)におけ! 第世界を 最会とのは、 第世界を は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ェクト事業実施に向けたプレ [®] ワークショップで提案のあっ <i>†</i>	事業実施(保健計画課) たちつの取り組みアイデアから 会討を行った。 のような考えで進められている っている。今回、区長会を通し 質団体と、この担当職員が芽雪	5、4つの企画に整理。 5のか したプロジェクトも、この芽 宮町で交流を行った。その中				

予	算・決算額推移(千円)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	予算額(事業費)	0	0	0	0	801	801
決算	額(令和3年度は見込み)	0	0	0	0	801	801
	国						
財源	都						
	その他						
一般財源		0	0	0	0	801	801
	執行率(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	#DIV/0!

		指標	特別区全国	連携プロジ:	ェクト事業実		単 位	自治体
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
				目標				
	手 段 に			実績				
	対する指標		R2	R3	R4	R5	R6	R7
	(活動指標)	目標	1	1	1			
	(実績	1					
		指標の選定理由及び目	標値の理由					
補助金の		多様な人々(生産者	・食育実践者	おなど)の交流	で実現させる	ことが大切と	と考える。	
成果		指標					単 位	
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
				目標				
	目的に			実績				
	対する指標		R2	R3	R4	R5	R6	R7
	(成果指標)	目標						
	,	実績						
		指標の選定理由及び目	標値の理由					
	評価結果			評価につい	へての説明・今	後の方向性等	F	
改善・見直しのうえ継続 きず、え			度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面式の交流事業は実施でオンライン会議を実施した。今後も交流事業を通じた区民相互の交流を深めるた、感染拡大を防ぐための対策等を検討していく必要がある。					

課題・問題点

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面での交流が困難となっている中、オンラインの活用等、様々な形の交流を検討することが、今後の課題となる。